

令和 8年 3月 30日

長浜市議会副議長 杉本英一 様

提出者 長浜市議会議員

賛成者 長浜市議会議員

矢守 昭男
中川 勇
加藤 義之隆
竹本 直隆
押谷 正春
中川 昭ウ
田中 真浩

議案の提出について

令和7年長浜市議会定例会令和8年3月定例会において、長浜市議会会議規則第14条第1項の規定により、次の議案を提出します。

記

決議案第 3 号

伊藤喜久雄君の議長解任を求める決議

以上

決議第 3 号

伊藤喜久雄君の議長解任を求める決議（案）

長浜市議会は、市民から負託された議決機関であり、その長である議長には議会を代表し、公正かつ中立な立場で議会運営を行うとともに、議会の信頼を保持する重大な責務が課せられている。

しかしながら、近時の議会運営をめぐる一連の対応については、市民の間において議会に対する信頼が揺らいでいるとの声が多く寄せられている。

昨年 10 月、東京都内の金属製造企業から長浜市に対し約 14.2 億円の損害賠償請求訴訟が提起されたことに関連し、副議長による事実と異なる情報発信がインターネット番組等を通じて広く拡散され、市政および議会の信頼に影響を及ぼす事態となった。

この問題に対し、議会としては令和 8 年 2 月 6 日の本会議において副議長に対する辞職勧告決議案が提出され、またその後の議会運営委員会では本会議場における謝罪を求める意見が示されるなど、議会の信頼回復に向けた対応が議論されてきた。

しかしながら、議決機関の長である議長として、議会としての信頼回復に向けた十分な対応がなされているとは言い難く、議会運営の在り方に対する疑念が市民の間にも広がっている。

また、本件に関し長浜市長から市議会に対して申し入れがなされているが、その申し入れに対する議会としての回答についても、市民からは議会として真摯に対応しているとは言い難いとの声が多く寄せられている。

さらに、先に行われた長浜市長選挙において、本来、中立性の確保に十分配慮すべき立場にある議長が、特定の候補者の応援を表立って行っていたとの声が市民の間で広く聞かれ、大きな話題となったことも事実である。

議長は議会を代表する立場にあり、その言動は議会全体の信頼に直結するものである。特に議長には、公正性および中立性に対する市民の信頼を確保することが強く求められている。

議長は議会の秩序と公正を守る最後の砦である。その議長に対して議会運営の公正性や中立性について疑念が生じている状況は、議会ガバナンスの観点から看過できるものではない。

議会の信頼は市民から負託されたものであり、その信頼を守る責任は議会自らが果たさなければならない。